

平成28年度が終わりました。この1年間、地域の皆様には温かいご支援を賜り、紙面をお借りしてお礼申し上げます。この1年も又、熊本地震をはじめ全国のあちこちで、地震や水害などの大きな自然災害が発生し、多くの地域で被害を蒙りました。又、高齢者による大きな自動車事故も繰り返しニュースとなりました。

さて、この1年間私たちは三方原地区社協を皆さんにより広く知っていただくために、「地区社協だより」の記事や、構成などを工夫し、カラー版を1回増やし年3回の発行としました。又、2年半前にスタートした「家事支援事業」では、新しく7名の「協力員」も加わり、継続的に依頼される利用者を中心に、着実に事業が進んでいます。又、愛知県安城市で進んだ活動をしている地区を見学に行くなど、学習、啓もう活動にも取り組んで来ました。

地域での「助けあい活動」(＝共助)の必要性が言われる中、今後ともより多くの皆さんに、家事支援事業への参加などご協力いただきながら、活動を進めていきたいと考えます。



会長 小倉一夫



三方原協働センターまつり



企画運営部会は、4月以降に行なった行事を写真とコメントで紹介し、少し飾りつけを行いました。物品販売では、例年通り「おでん」と「わた菓子」を販売し好評を得ましたが、「おでん」の仕込み作業と、「わた菓子」の販売の大変さが分かった2日間でした。

全体の感想として、事務所側には多くの方がいても体育館側は割りと少ないといった違いがみられ、人の流れに工夫がほしいと感じましたので、次回に生かしたいと思います。



田村勇次
企画運営部会長





初生小学校校長先生紹介・託児支援



本校では、参観会・懇談会のおりに託児支援をお願いしています。託児教室からは、幼児のかわいらしい笑い声が聞こえてきて、保護者の皆様からも、安心して任せられると好評です。学校としても、子供の輝いている姿を見ていただいたり、子供の様子について話し合ったりすることができ、保護者の皆様と有意義な時間をつくるできています。本当にありがとうございます。

このような社会福祉協議会の活動を通して、地域ぐるみで子供たちを見守り、育てていこうとする三方原地区の温かな風土を感じることができます。この精神は、おじいちゃん・おばあちゃんからお父さんお母さんへ、そして子供たちへと受け継がれてきているのでしょうか。「笑顔にあふれ 安心して学び 明日また来たくなる学校」を合言葉に、互いを尊重しながらつながりを持ち、支え合う集団づくりをめざしている初生小学校にとっても、よい手本となっています。

今後も、お力添えをよろしくお願いいたします。そして、遠慮なく学校にも遊びにいらしてください。



浜松市立初生小学校
松下 比呂志 校長



初生小学校 託児支援



託児支援 関 美奈子

初生小学校託児支援は、今年度で11年になります。参観会時にお父さんやお母さんにゆっくり子どもさんの授業を見て頂けるように、下の子どもさんをお預かりしようと始めた支援です。初めてお母さんと離れる子は泣く子どもも多いですが、回数を重ねるごとに慣れてきて「帰りたくない、もっと遊びたい」と言う子どももおります。「子どもパワー」をもらい頑張っていきたいと思います。



平成29年2月17日



前号の「ホットな話題」で紹介いたしました牧之原市の岩倉花愛(はな)ちゃんが22日、アメリカのコロンビア大病院で8時間にも及ぶ心臓移植手術を受け、成功したとの記事が平成29年2月26日(日)の静岡新聞 朝刊に掲載されていました。元気に帰国されることをお祈りいたします。

重い心臓病を患い、心臓移植を受けるため、渡米した牧之原市の岩倉花愛ちゃん(1)の支援団体は25日までに、花愛ちゃんが心臓移植手術を受け、成功したと明らかにした。支援団体によると、現地時間の日にトナーが現れ、コロンビア大病院で約8時間にも及ぶ手術を受けた。集中治療室(ICU)で経過観察しているという。両親は「つないでいただいた命のバトンをしっかりと受け止め、

花愛ちゃん
岩倉花愛ちゃん(両親提供)

生をかけて守つてい(起す)「拡張型心臓病。無事に帰国し元気」と診断された。支(な)をお見せするこ) 援団体「はなちゃんをて送迎し(きたら) 救う会」が中心となつてコメントした。

花愛ちゃんは生まれ(た)募金活動で県内外か(す)に、心臓の収(約)3億円が寄せら(た)機能が低下して心不全 渡米が実現した。

静岡 新聞
平成29年2月26日(日曜日)朝刊

初生・三方原地区 民生委員・児童委員協議会を紹介します



初生・三方原地区
民生委員・児童委員協議会
鈴木源次 会長

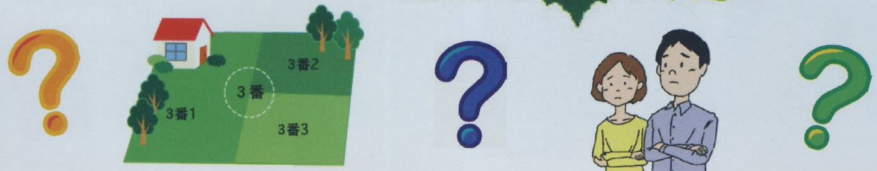
地区では31人の委員が時代背景によって大きく変わる国の制度と向き合っています。民生委員・児童委員、主任児童委員は日頃の友愛訪問を基本とし、子どもさんはもとより、日常生活に支援が必要な高齢者などへの見守り活動等に全員が同じ方向を向いて活動できるよう、これからも与えられた立場に立ち、日々の活動に精進してまいりたいと思います。

地域の皆様方には、地元の民生委員・児童委員、主任児童委員に温かいご支援とご理解を切にお願い申し上げます、あいさつとさせていただきます。

民生委員・児童委員 信条

- 一、わたくしたちは、隣人愛をもって、社会福祉の増進に努めます。
- 一、わたくしたちは、常に地域社会の実情を把握することに努めます。
- 一、わたくしたちは、誠意をもって、あらゆる生活上の相談に応じ、自立の援助に努めます。
- 一、わたくしたちは、全ての人々と協力し、明朗で健全な地域社会づくりに努めます。
- 一、わたくしたちは、常に公正を旨とし、人格と識見の向上に努めます。

相談室部会



ふれあい相談室は、暮らしの中での心配事や困っていることを、どこに聞いたら良いか、だれに話せばよいかわからない時、親切に相談に応じてくれる無料の相談室です。秘密は堅く守りますので安心してお話し頂けます。専門的な知識が必要な場合は専門の方を紹介することも出来ます。

「暮らしの心配ごと相談」は毎月第2・第4土曜日、遺言・相続の相談は奇数月の第2火曜日です。

日程など詳しくは、4半期ごとに自治会の回覧でお知らせしますのでご覧ください。



田中やす子 部会長

三方原地区社協の無料相談室をお気軽にご利用ください。

相談内容：「暮らしの心配ごと」、「遺言・相続」、「人権」についての3種類です。

場 所：三方原協働センターのボランティアルームです。

受付時間：毎回 13時30分 ~ 15時30分（相談は16時迄です）

相談案内：詳しくは、年4回自治会回覧で案内します。

Tel・Fax: 053-439-0865





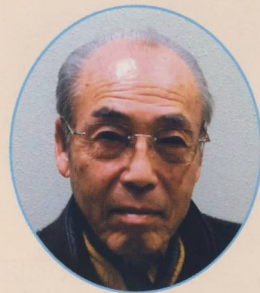
家事支援部会

『家事支援は地域の為に・自分の為に』

高齢化の加速に伴い、地域共助（助け合い・支え合い）の必要性が今後ますます高まって参ります。

一方、社会参加・社会的役割を持つことが自身の生きがいや介護予防にもつながると云われています。

本事業のスタッフ・協力員も、ボランティア精神はもとより、そうした社会参加が自分のためでもあるとの思いで、活動しています。家事支援事業で、地域の安心・安全に一役買っていることを誇りに、今年もお困りになられている高齢者等の少しでもお手伝い・お役に立てる様、頑張ってお参ります。



袴田清勝 部会長

作業前



作業中



作業後



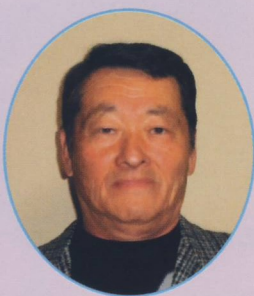
平成29年2月23日

平成28年度 第3回協力員研修会

三方原協働センター講座室



広報部会



袴田 武 部会長

この1年、モノクロ1枚の社協だよりは廃止し、インパクトのあるカラー4面記事を年3回発行しました。編集会議では、各部会の活動のほか、地域での色々な催し、小学校や諸団体の紹介などを掲載していくことを話し合いました。紙面に人物写真を掲載するにあたり、個人情報取り扱いに一番気を遣いました。そして、写真とコメントの配置、校正を何度も重ねて印刷に回し、納得できる完成品を手にした時が広報部にとって最良の瞬間です。

これからも、地域のいろいろな情報を紹介していく予定です。

